

# 「学校・家庭・地域連携協力推進事業」(学校を核とした地域力強化プラン)の取組事例

## 「地域学校協働活動(地域活動)」(宮城県石巻市)

### 取組の概要や経緯

石巻市協働教育推進事業の中に、地域活動支援としてふるさと子どもカレッジの開設、学校教育支援として読み聞かせボランティアの育成が位置付けられている。石巻市協働教育推進事業は、社会の中でたくましく生きる子どもたちを地域全体で育むために、家庭・地域・学校をつなぐ仕組みをつくり、協働した教育活動を展開するものである。

### 内容

- ふるさと子どもカレッジ  
市内の小学5・6年生を対象に、市内各地区で7回※計画  
※コロナ感染拡大の影響により、2回中止となった。
- 読み聞かせボランティアの育成  
年3回の読み聞かせボランティア研修会の実施 ※コロナ対策により研修会は中止にした。

### ポイント

- ふるさと子どもカレッジ  
地域の学習力を生かした体験活動 **(地域産業の担い手の方などを講師にする)**
- 読み聞かせボランティアの育成  
市内の読み聞かせボランティアなどを対象に読み聞かせ等についての研修を行う。

### 成果

- ふるさと子どもカレッジ  
参加者からは、貴重な体験ができたとの声が多く、また、講師からも、子どもたちと直接触れ合うことのできる貴重な機会となっているとの声も聞かれ、双方にとって意味のある活動になってきていると感じた。インターネットなどを通じた交流も広く行われる現代において、実際に見て・触れて学ぶことも自分事として感じることも重要な機会であると考えており、今後もこのような事業は残していきたいと感じた。
- 読み聞かせボランティアの育成  
機を見て研修会を企画したがコロナ感染の拡大を受け中止とした。準備の段階で研修会を実施してほしいという声を聞くことができたので、あらためて実施を考えている。



「ふるさと子どもカレッジ」のようす  
「ジュニア・リーダー交流会(左上図)」  
「釣石神社の宮司さんと北上の歴史勉強(右上図)」  
「雄勝硯伝統産業会館で硯石彫り体験(下左図)」  
「牡鹿給分浜牡蠣処理場で牡蠣むき体験(右下図)」

### 今後の方向性

- より多くの人々との関わりを増やすため、地域の人々を講師にした活動内容を計画していく。
- 研修会を企画・実施することで、研修の機会や情報交換の場を設けながら、ボランティアの育成を目指す。

# 「学校・家庭・地域連携協力推進事業」(学校を核とした地域力強化プラン)

## 地域学校協働活動の取組事例

### 「子どもたちが共に学び合う地域活動」(宮城県白石市)

#### 取組の概要や経緯

学校の授業では体験出来ない自然の家を活用した体験学習、学校や学年を超えた幅広い交流、収穫から調理までを一貫した食育体験などを通じて青少年の健全育成を図るとともに、子ども達の自主性や創造性、集団における協調性を養うことを目的としている。



#### 内容

小学校5・6年生を対象とした事業「わんぱく教室」を実施している。例年、キャンプでのテント泊や野外炊飯、食育体験、その他体験活動を計画し、通年に渡り事業を実施。なお、白石市ジュニアリーダー「キャロル」が指導者として小学生の指導にあたることによって、将来のジュニアリーダーの育成、子どもの青少年健全育成を図れるような活動を展開している。

#### ポイント

- ①小学生にとって、学校や学年を超えた交流を図る機会を創造した。
- ②ジュニア・リーダーは地域の子どもを引っ張る存在として、公民館事業への参加やイベントへの出店など、地域活動に積極的に参加した。



#### 成果

・コロナの影響により活動を縮小せざるを得ない状況ではあったが、**感染対策を講じたうえで活動を行った**。他校児童同士の交流が被災後のコミュニティの復興の一助となった。また、小学生で他校児童と交流することで中学校生活へのスムーズな移行の一助となっている。

・コロナの影響により一昨年度の活動ができなかったことにより、ジュニアリーダー活動への意欲が低下していたが、新メンバーも入会し、再び**自分たちができることを協議しながら**、活動を実施している。



#### 今後の方向性

- ・震災による避難者や地域住民自体も地域の伝統文化に触れる機会が大きく減ってきている。子どもたちを中心に、地域住民が地域を見つめなおす機会を提供し、事業を進めたい。
- ・感染症対策の徹底を呼び掛ける。

# 学校・家庭・地域連携協力推進事業(学校を核とした地域力強化プラン) 「地域学校協働活動(地域活動)の取組事例

## 「学校・家庭・地域の連携による教育力の向上」(宮城県 多賀城市)

### 取組の概要や経緯

#### 【地域活動(地域力向上事業)】

災害時に主体的に対応しようとする青少年の育成及び地域防災力の基盤となるコミュニティの醸成を通して地域教育力の向上を図る。

### 内容

#### 【地域活動】

・市内公民館等の協力を得て、防災キャンプ等を実施し、幅広い年代層(中高生や大学生、ジュニア・リーダー)の地域住民等との体験活動をとおして、災害時に主体的に対応しようとする青少年の育成及び地域防災力の基盤となるコミュニティの醸成を図る。

### ポイント

- ・コロナ禍ではあるが、活動内容を見直し、校外や体育館等の広い場所で活動するなどの感染予防対策を講じた。
- ・中学生や高校生等がボランティアとして参加し、リーダーとして児童と一緒に体験活動を行うことは、地域の次代を担う人材育成へとつながっている。
- ・地域活動の拠点である公民館で実施することで、災害時や非常時に体験活動で得た知識やスキルを発揮することができる。

### 成果

・土嚢づくりやロープワークなど災害時や緊急時に自分の命を守るためのスキルを身に付けさせることができた。また、活動グループ内で役割を決めて自主的に活動するなど、幅広い年代層が交流するよさもうかがえた。

### 今後の方向性

・地域力向上事業を進めていく上で、公民館等の協力を得ながら継続的に取り組むことが、次代を担う人材の育成へとつながっていくと考える。今後は、より多くの児童生徒が地域住民と交流できるような活動内容や周知方法を工夫し、年間通して地域活動が展開できるような計画を立てることも視野に入れていく必要がある。



中学生ボランティアとの交流



ジュニア・リーダーとの交流



非常食づくり

# 「学校・家庭・地域連携協力推進事業」(学校を核とした地域力強化プラン) の取組事例

## 「地域資源や人材を生かした学習支援事業」(宮城県 大衡村)

### 取組の概要や経緯

子どもを地域全体で育むために、家庭・地域・学校を結ぶ仕組みを作り、学校教育の充実や子どもたちの健全育成、住民のやりがいや生きがいづくりを推進するため、ボランティアの募集や派遣を行った。

### 内容

・家庭科授業の補助(ミシンの使い方指導)

### ポイント

村内全世帯に「地域学校協働活動推進だより」とボランティア申込書を配布し、活動内容の周知を図っている。

### 成果

活動を通して地域ボランティアと児童の交流が図られ、地域住民のやりがいや意欲につながっている。また、親世代・祖父母世代のボランティアとの関わりは、3世代の交流を兼ねての取組となり、これまでにない環境での学習の場となっていた。



### 今後の方向性

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止や学校行事との調整等により、予定より日数や人数を縮小して行った。今後も学校との連絡を密にし、また新型コロナウイルス感染症対策等を講じながら、事業を継続していけるようにする。